

## 2022年度産業能率大学後援会 第2回幹事会開催報告

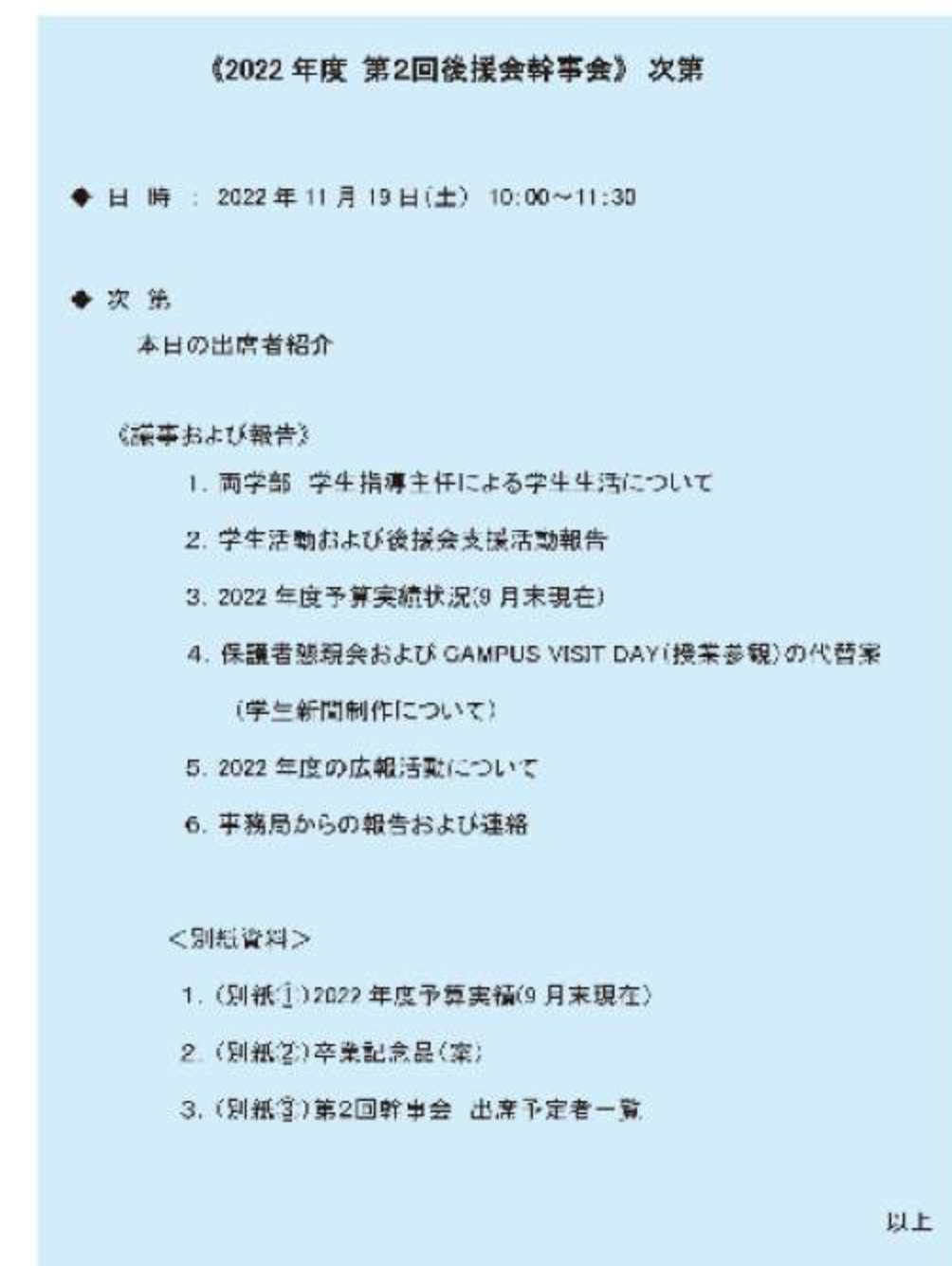
2022年度の第2回幹事会は、11月19日(土)に新型コロナウイルス感染防止の観点から、オンライン方式にて開催いたしました。

まず、会の冒頭では、経営学部学生指導主任の武内教授ならびに情報マネジメント学部学生指導主任の中川教授より、学生活動や後援会支援活動の状況についてご報告をいただきました。ご出席いただいた各学年の幹事の皆様には、学生の取り組みと後援会からの支援活動について、ご理解をいただくことができました。

続いて、後援会事務局より、これまでの予算執行状況と後援会行事代替案についての説明を行いました。3年連続で新型コロナウイルス感染症が蔓延したことにより、保護者の皆様を対象とした懇談会(9月)やCAMPUS VISIT DAY(授業参観:11月)の開催を見送りましたが、感染防止に配慮しつつ、学園祭などの大学行事や課外活動を実施していることを報告いたしました。

最後には、3月16日(木)の学位授与式において後援会より卒業生に贈呈する卒業記念品について、事務局側より各学年の幹事の皆様に提案を行い、ご審議いただいた結果、ご承認をいただきました。

幹事会は終始穏やかな雰囲気の中で進められ、次回3月の開催日時を確認のうえ、無事に終了いたしました。



第2回後援会幹事会の次第

## 学生新聞の制作と発行(自由が丘・湘南)

11月、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が見送られた保護者懇談会やCAMPUS VISIT DAY(授業参観)の代替として、自由が丘・湘南の両キャンパスにおいて、学生新聞が制作されました。

まず、経営学部のある自由が丘キャンパスでは、授業科目「エディター養成プログラム」が開講されていることもあり、印刷物の取材や編集を経験している学生も少なくありません。今回は、同好会として新たに設立された広告研究会の学生により制作されました。同顧問である加藤教授の熱心なご指導もあり、メッセージ性あってクオリティの高い新聞を作成することができました。

情報マネジメント学部のある湘南キャンパスでは、昨年に引き続き、学生団体である学生会執行部の学生が、広報委員会の撮影協力も得ながら取材・編集を行いました。学生達は、何度も綿密な打合せを行い、改めて学内中を自らの足で歩き、教員や各学生団体等への取材を重ね、保護者の皆様に「いかに学生目線で情報をお伝えするか」を第一に編集しました。学生会執行部の学生は、納涼祭や大山登攀芸術大会等の学生行事において活躍しており、今回もそのポテンシャルを遺憾なく発揮した新聞が完成しました。

作成したそれぞれの学生新聞は、本誌105号と共に同封のうえ、保護者の皆様にお届けさせていただきます。学生視点にて編集された各キャンパスの様子について、是非ご覧いただければと思います。



自由が丘学生新聞制作の皆さん



自由が丘学生新聞制作の様子



湘南学生新聞制作の皆さん



湘南学生新聞制作の様子